



—広報—

いとまん

—ひかりとみどりといのりのまち—



網走市の子どもたちと大交流

11月26日～29日、網走市文化連盟40周年記念事業の一環として、がじゅまるエイサークラブのみんなが、東小学校と網走市市民会館でエイサーを披露しました。初めてさわるパーランクーに東小学校の子どもたちは大はしゃぎでした。



平成17年

1

月号 No.473

◆今月の内容◆

- P2～3 新年のごあいさつ、南部病院関連ニュース
- P4～7 新春座談会
- P8～9 南米ボリビアの入植50周年記念式典参加レポート、オホーツクの風2004、ラズコーナー
- P10～17 スポーツ、トピックス、市の決算状況
- P18～23 お知らせ広場
- P24 糸満市重大ニュース

迎春

年頭のごあいさつ



系満市長
西平 賀雄

新年明けましておめでとう
ございます。

皆様には、健やかに平成十七年の新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

市民の皆様には、平素より市政各般にわたり格別なるご支援、ご協力を賜り、衷心より厚くお礼を申し上げます。

昨年七月に皆様の負託を受け、市政を担当させていただきましたが、新年を迎えるにあたり、改めてその責務の重大さを痛感すると共に、皆様の期待に添うべく決意を新たにしているところでございます。

さて、平成十六年を振り返ってみますと、新潟中越地震や相次ぐ台風の襲来等、日本中が自然災害に見舞われた年であり、被害に遭われた方々に対し、心からお見舞いを申し

上げます。

昨年の我が国の社会経済は、国内需要が着実に増加し、景気回復の兆しは見られたものの、依然として厳しい景気状況にありました。一方、スポーツ界では国内外において明るい話題が続き、アテネオリンピックでの日本人選手の活躍、イチロー選手の間年最多安打の記録更新、また県内では女子プロゴルフの宮里藍選手の活躍が印象的でありました。

そのような中において、昨年暮れには、三位一体改革の全容が決定され、本格的な地方分権の幕開けが到来しました。

二十一世紀は、地方自治と地方分権の時代であります。自己決定・自己責任が強く求められる時代であり、これからは各地方自治体それぞれの特徴を生かした政策決定と展開が求められる時代でもあると認識しております。

系満市の個性や特色、系満らしさを追求し「市民が主人公」であることを原点

に「フレッシュな創造力でワクワクするまちづくり」に向け、創意工夫に努め、質の高い行政サービスを提供しなければならぬと考えております。

そのためには、行政の経営資源を有効に活用すると同時に、これまでの市政各般における成果を検証し、改善すべきところは改善していく行政運営の基本に立ち帰り、明るく住み良いまちづくりを推進します。また、常に市民との対話を大切に、市民の総意を反映した共働きの「まちづくり」を積極的に推進して参ります。

平成十七年度は、私が自ら予算を編成し、執行する最初の年度であります。公約の実現と併せて、市の行政各般にわたる基本的将来目標である第三次系満市総合計画を計画的に推進し、「海幸・陸幸の史都 系満市」を目指して取り組んで参ります。具体的な施策の展開としましては、県立南部病院の県立としての存続、旧ダイエー跡の再活性化、温泉・

天然ガス開発の推進、行財政改革の推進と併せ、観光農園の充実、系満ふるさと夏祭りの復活等、産業の進展に積極的に取り組んで参ります。また、系満小学校校舎の全面改築等、教育行政の充実に努めて参ります。加えて、今年は、戦後六十年の節目を迎えることから、平和コンサートの開催に向け取り組んで参ります。

本年は市民の負託を受け、就任二年目を迎えます。公約致しました諸施策の実現へ向け、全身全霊を傾注して参る決意であります。本年も市民皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。結びに、平成十七年が皆様にとりまして、御健勝で幸多い年となれることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

二〇〇五年一月一日

系満市長 西平 賀雄

12月10日 県立南部病院廃止・経営移譲反対集会

12月10日、県議会一般質問にて南部病院関連の質疑がありました。その一般質問前の午後3時に県立南部病院の廃止・経営移譲に反対する集会が「県民広場」(県庁前・県議塔横)で行われました。あいさつでは、市長、金城光音会長(住民協議会)、大城節子さん(市民代表)が、それぞれの立場から県立南部病院の重要性を訴え、その存続に最後まで頑張ろうと集まった参加者に訴えました。



約200名の参加者が集まりました。



西平市長



金城会長



大城節子さん



心を一つにしてガンバロー

また、反対集会終了後は、参加者で一般質問の傍聴を行いました。傍聴席で見守る中、新垣哲司県議会議員の質問に対し、県の姿勢は「経営移譲」の立場にあると一貫してその態度を崩しませんでした。



県議会の様子



傍聴席は糸満市民で埋め尽くされました。

新春座談会二〇〇五

西平市長と語る

市民の未来とともに描く 糸満市の未来像



西平賀雄 糸満市長

■金城義朗総務企画部長（司会）

今日は「平成十七年新春座談会」ということで、いろんな夢を語っていただきたいなと思います。テーマが「糸満市民と共に描く糸満市の未来像」ということで設定されておりますが、この新春座談会は、糸満市が持つ様々な魅力、特性といえますか、いろいろ特性があります。歴史、文化、それから経済、生活、環境などいろいろあります。そのような魅力に参加者全員で確かめながら、将来の夢ある街づくり、地域づくりについて語りあう機会としたいと思います。

第一次産業の 後継者の育成を

■伊敷貴也

私は今、畜産担当をやっていますので、農家の方と関わることがとても多くて、よく言われるのは、「糸満市は第一次産業を守っていないかどうするんだ」という声がよく聞かれます。自分は、やはり糸満はウミンチュの街ですから、漁業を守っていきながら、農業や畜産業を営む農家を大切にしていけることが大切だと

思います。

この仕事について思ったのが、後継者がいないんです。畜産業でも、年上で言えば八十過ぎている人もやっていますが、ほとんどの人が五十代から八十代、そういう年なんです。若い世代の人がまったくそこに目を向けていないと思うんです。そこに目を向けるにはどうすればいいか、それを育成する場を作っていくかなければ、これからの糸満市の第一次産業の発展は続かないと僕は思います。

■市長

第一次産業の大切さというのは非常に私も感じておりまして、糸満市には観光農園があるわけですけども、やはりこれまでの基幹作物であるキビ一辺倒から形を変えていかないと、おっしゃるような後継者が育たないだろうと私は感じます。ですから、糸満ワインが今度の県知事表彰最優秀賞の受賞が大きなきっかけとなつて、アセローラ、パッション、あるいは花き栽培がかなり伸びていくんじゃないかなと思っています。もつと魅力が出てくると、農業後継者も増えてくるだろうと思っております。

また、畜産についても、東風平にある

沖縄県南部家畜セリ市場が手狭になっているということで、移転を考えているんです。私はできたらこれが誘致できないかと考えております。

それと、牧草が今、非常に高率の補助がある聞いています。これは一定の面積がないと補助事業も受けられないのですが、糸満の場合は面積が大きいので、草地事業が入れられないか、それを検討しております。

最後に漁業についてですが、確かに糸満の漁業者というのは、獲ってくることはできるので、これを加工して販売していくというのができない。全国に漁業の町「糸満」というのは名が通っているわけですから、やはり漁業も活性化しないといけないというのがあります。

糸満の良さというのをもつと活用した形で、うまく使う方法を検討してみたい



伊敷貴也 市役所勤務

平成十六年度糸満市役所採用。現在、農政課で畜産担当。平成十七年糸満市成人式典実行委員会のメンバー。成人式典では司会を務める。また、地域活動に積極的で野球のコーチもやっているスポーツマン。

というふうに考えております。

それと第一次産業の活性化と観光とをつなげていきたいですね。そうすることによって、第一次産業の後継者も増えるだろうし、糸満市全体のいろんな産業の雇用の場の拡大にもつながると思いますので、そのようにやって行きたいと思っています。

見えるところで

観光産業を

■大城節子

私はある本土の方から聞いたんですが、糸満市の海はすばらしいんだよ、世界一だよと言われたんです。「何で？」と聞いたら、「やはり世界で通用する糸満市（海）だよ」と言われたんです。どういうことですかと聞いたたら、「海の周囲の作り方、船の台風のときの対策は一番だ」ということを糸満市の人は知らないといけないよということを知って、そうなんですかと行って、ただ動かし方がだめだと言われたんです。ということは、あれだけの世界にも、全国にも名が通った糸満市なのに、何でウミンチュはそばにいるのに、見せることはいつばいあるのに、何で活用できないのと言われて、「ああそうだな」と思って。

公設市場でも、観光客は買って食べて、本当にあれだけで成り立っている観光ですよ。そしたら糸満は中央市場の方を見て、開拓を早くしないと、若い子たちがいいものを失っていくわけですから、やはり市場も海に面しているし、また空港にも近いし、素通りの観光ではなくて、ここで足止めさせられる産業に持つていけるような形を、早急に糸満中

央市場を開拓していただきたい。

また、セリは見えないところでやっているの、目で見るような市場づくりをして、そこでも魚の買い取りができるような、観光客は朝早く来たら糸満のセリしているよと言って、上でもご飯を食べられるようにして。

そして市場に行けば農家の野菜もいっぱいある。またワインも、いろんな面で産業につながる道のルートはできているので、中央市場からまず早急に。

それともう一つですが、私は観光客を相手に仕事をしていますので、観光収入はほかにはありません。というのは、二三年前のテロ事件がありました、その時にはお客さんが入らなくて、一日一人しか入らない場合もあった。それらのことが全部にひびきます。農家にもひびきます。お米屋さんにもひびきます。ガスにもひびきます。ただの観光だと思ったら大間違いです。カンボジアも今は世界から観光客が入ってきているわけです。何にもないですけど、世界の皆さんがアンコールワットを見に来て、それで観光収入で国は成り立っているわけですから、やはりそういうことも早急にやらないと、三位一体で市も苦しいだろうから、そういう収入と支出が合うような形でよろしくお願いします。

■市長

観光については、糸満市の場合はどちらかというと、平和観光というのが主流になっっているんですが、しかもずっと以前から滞在型観光と言われながら、実際は糸満市内に留まる時間というのはほんのわずかしかならないということがあります。そこで私の考え方としては、三和地区についてはやはり平和を。毎年春と秋に全

国の遺族団の皆さんが慰霊祭で訪れるわけですから、肉親の亡くなったこの地で一泊をしていた、たぐような仕組み作りですね。そのためには、糸満市のほとんど南一帯は自然公園法の網がかぶっておりまして、一三メートル以上の高層の建物が造れないということで、ホテルの開発ができなかったわけなんです。しかし、先程私が申し上げた一泊でも泊まる仕組み作りをするためには、特区を入れて、このようなホテルができる方法を作っていくかないと、先程申し上げた目的を達成することができないと思っています。

その仕組み作りをまずやりたいと思っています。観光は総合産業ということでしたが、私は正にそのとおりだと思っていますので、観光には力を入れていきたいと思っています。

障害児と健常児が一緒に

過ごせる保育環境づくり

■玉城園子

私はまだ保育園に行っている子がいるんですが、前にいた自治体では、法人だったんですけど、市の方の取組みで午後七時までとか、保育時間がすごく幅広かったんです。また違う近くの保育所は午後十時までやっているところもあったんです。若い人たちからのどうしてもという要望が出てやっていることだと思っています。もう十年たつんですが、まだ続いているそうなんです。やはり、それが働きやすいというのが実際あるんです。

幼稚園に上がるときに、学童保育をどうしようかと親は懸命に探すんですよ。近くにないと、どこを探そうかと、送



玉城園子 主婦

市政モニター。PTAや婦人会、読み聞かせなど地域活動（大度）に力を入れている。
平成十四年には県婦人主張大会「ラジオ沖縄賞」を受賞。



大城節子 料理店経営

伊原の「ひめゆりの塔」近くにある料理店「雪花菜」を経営。また、陶芸家でもあり、糸満市の観光関係の仕事にも携わっている。

迎があるかと、安全確認もどうしても出てくるものですから、できたら学校の中の特に三和地区の学校は空いている教室が多いので、そういうところを利用した学童保育とかがあれば本当に助かるなと思うんです。親が働きやすい。共稼ぎをどうしてもしなければいけないような現状なんです。観光産業の人も多いので。そうなると、どうしても学童保育を充実してほしい。

あと、こちらに來て一番不思議だったのが、園内に障害児がいらないんですよね。うちは保育園のときにも必ずいたんですよ。これが当り前で、子どもたちも小さいときから接していて、まったく違和感というのがないんです。小さい時は溶け込みやすいので。お家に遊びに行ったりとか、そういう関係もできたりするぐらいだったので、その子どもたちは小学校までやはり各小学校に分かれて入っていましたんですよ。誰一人養護学校に行く人はいなかったんですよ。ですけど、こちらの現状がちよつと見えないということとちよつと入りにくいんだという意見も聞いたので、そういうのに柔軟に対応していつてほしいなと思いました。そういうところにも目を配っていたらいいと思います。これは、この子どもたちの問題ではなくて、普通の子どもたちの心の問題になるんです。普通の子どもたちが本当に責任感とか、その子どもたちと接することて豊かになつてくるんですよ。

上の二人を見てみるとそうだったんです。今はまったくそういうのがないので、結局ボランティアで足を運ばなければ、そういう接し方ができない。それはすごく不満で、私はそういう場の経験があったから言えることで、無かつたら無かつ

たで知らなかった世界なんですけど、これはすごく思うので、その辺をぜひお願いしたいなと思っています。

■市長
福祉の中でも、施設福祉から地域福祉に大きく変わってきています。ですから今まで障害をもっていた人たちは隔離されていた時代なんですけど、そうじゃなくて、地域社会の中で中心になって一緒に生活していくという時代が変わってきています。

去年NPOを立ち上げて、障害者の方々の就労の場を作ったということのことだったんです。地域の中の中心に障害の方々の働く場を作った。今は障害者も健常者もない、本当に一緒になって生活していくというのが福祉の流れに変わってきていますので、だんだんそういうふうに進歩していくと思います。

消防署と役所職員の
女性採用について

■照屋文美

糸満市には消防署が一つしかないというのが、心配というか、足りないのではないかなと思うんです。今、私は女性消防団に入っていまして思ったことが、照屋の方に消防署があるんですけども、人があんまり通らない場所にあつて、場所的な問題もあると思うんですが、できればもっと人が多く集まっている西崎地区ですとか、その辺に一つあつたほうが市民も安全だと思ふし、子どもたちの夢とか、生きる力とかいろいろ出てきたものにも少しつながると思うんです。

消防署が人が通る場所に一つあれば、見学に行こうと思わなくても、学校帰り

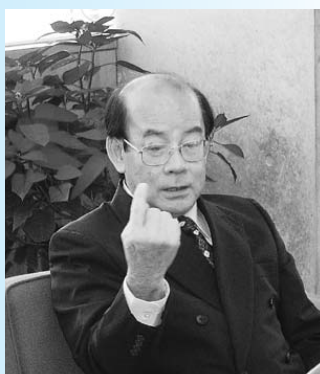
に子どもたちが消防署を見て、訓練している場面も見られると思うし、それに對して、消防署の人はこういう仕事をしているんだと、自分たちの安全を守るためにこういう活動をしているんだということを学ぶと思うんです。

それで、自分もこういう仕事がしたいという夢もどんどん広がっていくと思うし、そうすれば子どもたちもどんどん目標ができてきて、糸満市も元気になっていくような感じがするので、できれば消防署をもう一つ、市民が集中している場所にあつたほうがいいと思います。

あと一つ、女性職員の採用をもう少し広げてほしいです。消防署に行つてちょっとびっくりしたのが、女性専用のトイレというのがない消防署が多いことでした。糸満市だけではなくて、那覇でもそうでした。那覇は、女性消防士はいるんです。それにも関わらず、女性のトイレというのがない。ちょっとびっくりしたもので、もっと女性を採用していつて、いろんな場で女性が活躍できる時代だと思います。女性職員が増えれば、また違った魅力のある糸満市になるのではないかなと思います。

■市長

消防の問題につきましては、西崎消防支所というのが前から話が出ておりますけれども、実は今、先ほども出ましたシヨツパーズ、ここを一部使つて、西崎消防支所を建設することができないかというのも考えております。ですから、これから新しいものを作っていくのではなくて、あるものをうまくリサイクルするよくな形も考えておりまして、これもここに消防署を入れたほうがいいのかは、先ほど申し上げた、ここを活用する市民検



安田栄一 教育相談員

光洋小学校校長を最後に退職。
現在、糸満市青少年センターで教
育相談員として青少年育成、青少年
問題などを担当。



照屋文美 女性消防団員

糸満市初の女性消防団員の一人。
現在、市役所の臨時職員として勤務
高校、大学で続けてきたサツカー
の経験を生かして、少年サツカーの
コーチとして活躍中。



金城義朗 総務企画部長

討委員会、その中で検討されていきます。それとあと一つは、糸満と豊見城との消防の広域化の話も進めていまして、一応検討は今やっております。

最初は、今の西川公民館の位置にしろというような話がありました。しかし、消防本部というのは市全域を考えた場合に、中央にあつたほうがいいだろうということ、高嶺のほうにできています。今現在、非常に私が問題だなと思っているのが、西崎地区です。西崎にかなりの人口がいますので、本部からこまで来るのにかなりの時間がかかるんです。ですから、短時間で入って来れるようにするために、川尻親田原線という道路を整備中なんです。集中的にこれに予算を投下してでも、早くこの道を整備しよう。そうすれば、本部から西崎まで早く入ってきますので、それは何とか早くしようというのがあります。

それと南部病院が廃止された場合、三和地区から急患の搬送が非常に遠くなるものですから、これから考えると三和地区あたりに消防署が必要になるのかなというのを考えておまして、ただ消防職員の定数が決まっているものですから、なかなか簡単にはいかないんですが、そ

の辺を総合的にでも検討するつもりです。それと自衛隊ともこの間話し合ったんですけれども、遠いところから、南部病院がなくなると、那覇に建設している基幹病院に全部行くようになった場合、急患が間に合わなくなるので、離島からヘリを飛ばすように、これは南部一帯からあちらにヘリを飛ばすということは自衛隊ではできないかということで、それも調べさせています。また、消防支所については、いろんな形で市民の安心で安全なまちづくりを進めるために、消防がどうあるべきかというのにも考えております。

それともう一つ、女子職員を多く採用していただきたいということなんですけれども、糸満市は平成十二年に男女共同参画課から「でいごプラン」ができあがって、まったく差別することなく、職員採用をやっております。どちらかといいますと、女性の一次合格者が多いように私は思うんです。ですから、まったく差別することなく、成績順に評価していますので、女性の採用はかなり増えてきていると思います。ただ、消防のほうはまだ糸満では女性がいらないものから、今後そういう女性消防士も必要になってくるのかと思っています。

「まちづくり」は「ひとづくり」

■安田栄一

いろいろなまちづくりがあるかと思えますけれども、私はひとづくりがまちづくりであると考えています。

私は今、青少年センターで教育相談員としていますけれども、そこに来る子ども

たちはほとんど問題を抱えているんです。

やはり考えますのは、「教える」の面も必要ですけれども、「育てる」の面も大事にして、みんなで取り組んでいかなければならないことになると感じています。生きる力というののも自ら考え、自ら判断し、自ら実践していく力ですから、そういうのを培っていくのが家庭の「育てる」という問題と家庭や行政が体験活動をとくさんやっていたことによつて、子どもたちも伸びて行くのではないかと感じています。

まちづくりというのは、基本はひとづくりなんです。いろんな観光産業、いろんなものがありますけれども、ひとづくりを今しておかないと。ひとづくりというのは結果がすぐは出てこないものです。三十年、四十年後に出てくるものから、目に見えない。じゃあ今は置いておこうとなると大変なことになって、ツケが回ってくるわけです。

今、いろんな事件が起こっていますけれども、そのツケはいつから来たかという、大体二十年、三十年前の問題なんです。そういうことを考えますと、やはりまちづくりというのは、ひとづくりだろうと思います。

■市長

そうなんです。私たちが戦後の第一期のベビーブームで、私の子どもたちが第二期のベビーブームです。我々の世代に核家族が進行したわけですから、十分な家庭教育ができない。そういうできない子どもたちがまたいま子どもを持つという時代に入っていて、非常にキレる子が増えているというのが社会的な大きな問題になっています。

最近の新聞で、東京周辺だったと思うんですけど、父親が子どもたちに絵本を読んで聞かせてあげるといのが起こっているみたいですね。私はそれは非常にいいことだなと思っています。自分の子どもが小さいときに、よく寝るときは必ず絵本を読んで聞かせながら寝かし込んでくれる。父親の役目というのが今ちょっと薄れているんじゃないかなと思うんです。ですから、安田さんのほうから、人づくりというのがありましたけれども、もっと母親任せじゃなくて、父親も関わっていく教育のあり方というのが大事じゃないかなと思います。

沖縄県の場合、夜型社会で、若い世代でも夜遅くまで遊んで、十分仕事もできないという人も増えておりますし、また子どもたちも朝早くからあくびをするというパターンで、本当に沖縄の夜型社会というのが、私はその辺のいろんな意味での影響があるんじゃないかなと感じております。やはりこれは大人も一度考え直す必要があるんじゃないかなと思つて、総合的に社会づくり、人づくりというのは真剣に考えていかないと、これからの社会はあまり良くないんじゃないかなと思います。

■司会

たくさんさんの提言がございましたが、この提言を今後の糸満市の発展を考える機会に、全市民が考える機会になるものと確信しております。本日は貴重な時間をさいいただき、ご参加いただきまして大変ありがとうございます。



ポリビア移民半世紀の歴史をたどり、
県人移住地とポリビア国の一層の発展を誓った記念式典

国大使、県からは稲嶺恵一知事、外間盛善県議会議長、市町村訪問団など約二千人が参加して盛大に開催されました。また、隣国ペルーやブラジル、アルゼンチンの県人会関係者も多数駆けつけて祝福しておりました。

初日の記念行事は、十四日の午後から第一コロニアを会場に記念植樹やオキナワ・ポリビア歴史資料館落成式、記念パレード、前夜祭など多彩な催しが行われました。落成した歴史資料館は、県から二千万円の補助を得て建設され、館内には開拓当初から現在までの

特の民族舞踊を繰り広げるなど、「希望の大地」に根を張り、現地住民の協力を得ながら築き上げた開拓移住地の交流の歴史を印象づけていました。会場には大勢の人が詰めかけて多彩な舞踊や歌を堪能していました。私たち訪問団の誰もがコロニア・オキナワならではの素晴らしい前夜祭であったと感慨深げに話をしながらホテルに帰りました。

オキナワが、現在ではポリビア共和国内の模範的な農村として称えられている。国内各地から移り住み定着したポリビア人の数は約一万二千人と報告されており、こうした状況から、一九九八年にポリビア政府はコロニア・オキナワを行政区として制定し、第一移住地内にオキナワ村役場を設置した」と述べていました。

また、このような背景のもと移住地日系社会の自治組織であるオキナワ日本ポリビア協会では、原生林から今日のコロニア・オキナワを築き上げた半世紀の歴史を広く内外にアピールし、これをコロニア・オキナワのさらなる発展に活かすことを目的に「コロニア・オキナワ入植五十周年記念祭典実行委員会」を組織し、記念祭典を開催したと声高らかにあいさつをし、会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。

南米ポリビア(コロニア・オキナワ)の入植五十周年記念式典行事に参加して(上)

糸満市議会副議長 金城 勉
糸満市出納室長 山城 勉

私たちは、南米ポリビアの「コロニア・オキナワ入植五十周年記念式典」並びにポリビア・メキシコ訪問団の一員として参加する機会に恵まれ、八月十一日から二十一日までの十一日間、ポリビア・メキシコの各国を訪問しました。今回は、県内十七市町村から総勢で二十八人、本市からは金城勉副議長と市長代理の山城勉の両名が参加し、入植五十周年記念式典に出席するとともに両国の県人会並びに糸満市郷友会の関係者と交流・親善を図ってきましたので、その所感について報告いたします。

記念行事について

「コロニア・オキナワ入植五十周年記念式典」行事は八月十四日から二日間の日程で、第一移住地内の日ボ文化会館においてポリビア共和国大統領や在ポリビア日本

歩みが当時の写真や密林を切り開いたオノやクワ、衣服や鍋、戦闘機の燃料タンクを利用した水入れなどの生活用品等約二千点の展示と共に詳しく解説されており、人々の関心を集めておりました。また「沖縄移民の父」として四十周年の式典で表彰されるなど、移住者受け入れに尽力した故ビクトル・パス・エステンソーロ元大統領の銅像除幕式も行われました。

記念パレードと前夜祭では、沖縄から参加した琉球國まつり太鼓のほか、コロニアの第一青年会のダンスやコロニア・オキナワ内で働くインディオ系の現地住民が独

植開始後五十年の間に亡くなった乳幼児を含む三百二十七人の県系人のみ霊を追悼し、ポリビア移住地の一層の発展を祈願した次第であります。

「コロニア・オキナワ入植五十周年記念式典」は、午前十一時過ぎ中村侑史実行委員長の開会宣言で始まり、幸地広祭典委員長はあいさつで、出席した来賓者や関係者に感謝を述べるとともに、「第一次移民の到着から五十年を迎えた今日、移住地に居住する日本人移住者は約二百三十世帯、八百七十人前後で推移しているが、多くの困難を克服して開拓したコロニア・

このほか式典では、ポリビア国のカルロス・メサ大統領の祝辞、移住地での活動に功績のあった大城一夫さんら七人に功労者表彰、長山哲さんら四十人に高齢者表彰などが行われました。記念式典の部は終了しました。その後、昼食パーティに移り、会場には各郷友会婦

稲嶺県知事は祝辞で「移住地の歴史は原生林の開拓、疫病や大洪水、干ばつとの闘い、移住地の変更に苦労は筆舌に尽くせない。しかしながら県人の活躍は高く評価され、県民の誇りとするところである」と強調しておりました。

このようにして、沖縄から計画移民が開始されて半世紀の節目を祝う「コロニア・オキナワ入植五十周年記念式典」は、午後七時ごろ全日程を終了し閉会いたしました。

※県人会や糸満郷友会との交流編については次号に掲載いたします。



独特の民族舞踊も披露され盛況であった
記念式典のパレード・前夜祭

11月の末に糸満市からかわいいがじゅまるエイサークラブの子供たちと美しい乙女椿が網走に来ていました。会場となった東小学校では、勇ましいエイサーの衣装を着た訪問団を全校生徒とたくさんの父母が拍手で迎えていました。東小学校の大変丁寧なオーケストラの演奏や子供らしい面白さのある豊郷神楽の踊りの後、ちょっと恥ずかしそうなしぐさも見えていたが、迫力あるエイサーが会場の雰囲気盛り上げていました。素晴らしいと思ったのは気持ちを演奏や舞踊で表現できるということです。それがお互いや会場の皆さんを感動させていました。エイサークラブのみなさんや乙女椿の皆様、関係者の皆様大変おつかれさまでした。



東小のみんなと一緒に踊ったよ

今年も友好都市“網走市”と仲良く楽しくお付き合いのほど、宜しく申し上げます。糸満にもすっかり冬の冷たい風が吹いている様子ですが、あくまでも亜熱帯地域での話。北海道の皮膚には少し物足りない感じです。しかし、この時期の糸満には鬼餅や旧正月、十六日など“イベント”というよりは自然と生活の中にある行事が盛り沢山ですね。何事も初体験なもので、自分にとっては興味深く刺激的なことでもあります。お祭や古くからある行事はその季節感をみんなで共有でき、また人と人とのつながりを感じることで生活の糧になります。積極的に保存するのではなく、今のままを続けていくことで“いつもと同じ、昔から”という安心感も生まれてくるのではないのでしょうか。旅行者にとっては、お金では変えない土産話もまた価値のあるものと思います。



大里のチョンダラーたち



子供たちに見る異文化 Culture-ized Kids

第30回

ラー・メイソン（国際交流員・イギリス出身）

ある人は「子供は子供だ。世界中のどこに行っても変わらないでしょう」というようなことを言う。しかし、僕は今学期から、糸満市の3つの小学校で英語を教えることになり、上記の言い方に、疑問をもつようになった。

もちろん子供一人ひとり皆性格が違うのだが、子供たちを見ていると、日本とイギリスの間における文化の違いがよく分かる。つまり、それぞれの国の文化がその国に住む子供たちの考え方や行動等に大きな影響を与えているということだ。日本人の創造力の不足や自己主張を避ける傾向などは、近年、よく議論的となってきた。その反面には「日本人は団体行動が好き」等ということをよく耳にする。僕はつい最近まで、日本に何年間も住んでいても、このような固定観念的な論を否定していた。しかし、今年から小学校で働いてみると、上記の「固定観念」をもはや否定できなくなってきた。日本の子供たちは学校のシステムの中で行動していれば、しているほど、学校の給食当番や掃除当番、勉強の仕方などに慣れ、少しずつ自分の行動をそのシステムに合わせていく。要するに、団体の1人としてうまく行動ができるようになる。これを見て、イギリスの小学生たちはこのような団体行動をこれほどうまく果たせるとは思えない。しかし、英文を日本の小学生に口頭で作ってもらうことになると、学年が高ければ高いほど、気にせずに「やってみよう」という気迫や間違いを怖がらない、創造力を生かした積極さがなくなってくるようだ。

世界の皆さんは一人ひとり個性的なものではあるが、我々人間は自国の文化の影響を受けながら育ってきたものだ。だから、皆がそれぞれの文化にうまく合わせるように、子供の頃から行動と考え方を変えさせられていると言えるだろう。

Some people might say that “kids are kids” all over the world, but having started working in three of Itoman City’s primary schools this term, I beg to differ.

Of course, every child is their own person, so one can’t generalize too much, but there are some cultural discrepancies between the UK and Japan, as there are between every two countries, that I feel have a large influence on the attitudes, interactions and behavior of each country’s kids.

Much is said about the lack of creative thought and individualism in Japan, and about the Japanese cultural tendency towards group orientated behavior. Even after spending years in Japan, I had often dismissed such claims as stereotypical and outdated, but now, having started work in primary schools here, I’m not so sure. For example, for each year that the kids study within the school system, they seem to become more grooved to working within their class group; studying, cleaning, preparing lunch etc. All such tasks are mastered in a way that I find hard to imagine seeing in an English primary school. However, when it comes to creating an English sentence, the older the kids are the more reluctant they seem to “break out of the box” as it were, and have a go.

We are all individuals, but it is clear that as kids we are all shaped by our countries’ cultures to fit into the societies that surround us.

【ご意見・ご感想はこちらへ】

メールアドレス：ItomanshiCIR@city.itoman.okinawa.jp

中学駅伝 高嶺中女子が全県制覇！九州、全国でも大健闘

高嶺中学校の女子駅伝部が、11月に行われた中学校駅伝の島尻地区及び県大会を制し、12月の九州、全国大会に出場しました。全国大会では、県勢女子として過去最高の37位を記録する大健闘を見せています。

また、男子は西崎中学校が島尻地区で優勝、県大会で準優勝し、九州大会に出場しました。



全国でもがんばりました
高嶺中女子駅伝部

- ◆11/6 島尻地区中学校駅伝競走大会
男子 1位 西崎 2位 高嶺
女子 1位 高嶺
- ◆11/20 男子第28回・女子第17回
沖縄県中学校駅伝競走大会
男子 2位 西崎 17位 高嶺
女子 1位 高嶺
(出場25チーム)
- ◆12/4 男子第24回・女子第16回
九州中学校駅伝大会(長崎県)
男子 17位 西崎
女子 14位 高嶺
(出場17チーム)
- ◆12/19 第12回全国中学校駅伝大会(千葉県)
女子 37位 高嶺
(出場48チーム)

「若人よ きたえよ体 みがけこころ」 力いっぱい健脚を競い合う

第21回糸満市
少年少女駅伝大会

「第21回糸満市少年少女駅伝大会」(主催：糸満市・市教育委員会 主管：市体育指導委員協議会)が、12月12日、西崎陸上競技場を発着点に開催されました。

市内28自治会の小学校4年生～中学校3年生までの男女336名が出場した結果、大里チームが4年連続19回目の優勝を飾りました。また、最も順位・記録が飛躍したチームに与えられる「糸満市体育指導委員長賞」は昨年の8位から3位に飛躍した西崎3丁目自治会に授与されました。

教育委員会としては、今後、学校・地域自治会とも連携を深め、多くの生徒に参加機会を与え、スポーツ振興と青少年の健全育成及び地域活性化を図ることにつなげていきたいと考えています。



28チーム(第1区：小学4年女子)が
いっせいにスタート！

◆大会総合成績(12区間)

順位	チーム名	記録	順位	チーム名	記録
1	大里A	1' 00" 16	15	兼城	1' 08" 03
2	賀数	1' 02" 19	16	大度	1' 08" 14
3	西崎3丁目	1' 03" 03	17	西崎1丁目	1' 08" 28
4	真栄里A	1' 03" 04	18	与座	1' 08" 31
5	西崎団地	1' 03" 19	19	米須B	1' 08" 51
6	西川区	1' 03" 32	20	真壁	1' 09" 20
7	座波	1' 05" 05	21	西崎第2団地	1' 09" 36
8	米須A	1' 05" 49	22	照屋	1' 10" 39
9	パークタウン阿波根	1' 06" 25	22	西崎ニュータウン	1' 10" 39
10	大里B	1' 06" 34	24	新川区	1' 10" 46
11	西崎2丁目	1' 06" 35	25	前端区	1' 13" 08
12	浜川原	1' 06" 45	26	武富	1' 13" 16
13	大川区	1' 07" 35	27	真栄里B	1' 14" 08
14	阿波根宿舎	1' 07" 52	28	武富ハイツ	1' 18" 02

兼城中学校が優勝！ 島尻地区中学校軟式野球強化大会



「第26回島尻地区中学校軟式野球強化大会」が12月4、5、11日に開催され、11日に東風平球場で行われた決勝戦で、兼城中学校が東風平中学校を1対0で下し優勝しました。兼城中学校は、12月26～28日に行われる「第8回沖縄県中学校新人軟式野球大会」に島尻地区代表として出場します。

バドミントン女子が7年ぶりの優勝 第56回沖縄県民体育大会



攻める！柔道競技の大將戦（糸満市：左）



熱戦！バスケットボール女子（糸満市：ユニホーム白）

「第56回沖縄県民体育大会」が11月13～28日までの3週間（土・日開催）、6日間にわたり中部地区にて開催されました。（採点競技18競技：13市郡対抗戦）糸満市は昨年の男女総合成績12位から7位へ躍進しました。種目別競技においては、バドミントン競技女子が優勝、ウエイトリフティング競技・柔道競技が準優勝、バドミントン競技男子・ソフトボール競技男子・ソフトボール競技女子・陸上競技（一般男子）が4位と健闘しました。

また、接戦の末敗れた競技、期待されながら力を発揮できなかった競技もあり、今後市体育協会（徳元孝進会長）としても各競技団体との連携を密にし、次期大会「第57回北部地区開催」「第58回南部地区開催（糸満市・島尻郡・豊見城市）」に向けて、更なる強化対策に取り組むことが話し合われました。

第9回OKINAWAミニバレーフェスティバル 出場チーム募集

- ◆日 時 平成17年2月20日（日）9時
- ◆会 場 西崎総合体育館
- ◆種 目 男子の部
女子の部（40歳以上の部・40歳未満の部）
混成の部（40歳以上の部・40歳未満の部）
- ◆参加料 1人1,000円
- ◆締め切り 平成17年1月21日（金）まで
- ◆申し込み・問い合わせ
糸満市ミニバレー協会（小黑） ☎994-1105

第10回糸満市初級者テニス大会 出場者募集

- ◆日 時 平成17年2月20日（日）9時 試合開始
予備日 2月27日（日）
- ◆会 場 西崎・みなと公園・近隣公園テニスコート
当日受付：西崎テニスコートにて8時30分より
- ◆種 目 男子・女子ダブルス各16組予定（先着順）
及びコンソレーション予定
- ◆参加料 一般ペア 1組3,000円
高校生以下ペア 1組2,000円（当日受付時に徴収）
- ◆申し込み・問い合わせ
糸満市テニス協会 メール：ita@m3.dion.ne.jp
TEL(FAX兼) ☎050-2003-6392（金城 治）
〔氏名・住所・サークル名（学生は学校、学年）・電話番号を記入）
- ◆参加資格 オープン（県大会Cクラス以下、歴代優勝者を除く）
- ◆締め切り 平成17年2月14日（月）17時
（ただし先着順で定員になり次第締め切る）

11/28 第1回市民パークゴルフ大会 結果

（糸満観光農園）

◆一般の部	スコア
優 勝 島袋輝雄（大里）	53
準優勝 仲吉幸盛（西崎3丁目）	54
3 位 徳元秀樹（米須）	55
◆ファミリーの部	
優 勝 金城総（西崎3丁目） 照屋秀貴（糸洲） 仲本朗（糸満） 永山龍児（東風平町）	303
準優勝 玉城タケ（大度） 玉城園子（大度） 玉城愛香（大度） 玉城和沙（大度）	328
3 位 玉城達郎（真壁） 山田晃久（真壁） 大城光弥（真壁） 宜保里奈（真壁）	413



入賞者の皆さん
おめでとうございます！

第1回新春自治会対抗パークゴルフ大会 出場者募集

- ◆日 時 平成17年1月23日（日）
スタート午前9時、11時、午後1時、3時
- ◆会 場 糸満観光農園パークゴルフ場
- ◆参加方法 1組4名 各自治会3組まで
- ◆参加料 1名1,000円（プレー代、飲物、保険料等を含む）
- ◆募集期間 平成17年1月3日（月）～16日（日）まで
- ◆申し込み・問い合わせ
糸満観光農園（株） ☎997-2793

中越地震被災者のために ～できることから始めよう～

12/3 割れずに安全です！給食用食器を寄贈



給食センターの徳元勲所長（右）から食器を受け取る藤原さん（中央）と運輸会社の平田さん

市立学校給食センターからは、給食用の食器が新潟へ贈られました。きっかけは、藤原奈央子さん（大度）が現地でボランティアをした際、家財を失った被災者の方々が食事に使い捨て容器を使わざるを得ず、山積するゴミ処理が問題になっている現状を知ったことです。

藤原さんが市商工会を通じて給食センターに打診し、954皿の見本用食器の寄贈を受けました。宜野湾学校給食センターからも500皿の提供がありました。輸送についても運輸会社がボランティアで引き受けてくれ、藤原さんは「いろんな方の善意の糸が1本につながった。この食器が現地で役立ててもらえたら嬉しいです」と大変喜んでいました。

12/11 チャリティーバザーを開催

市内の育児サークルや児童センターが中心となって企画した「中越地震チャリティーバザー」が、西崎太陽児童センターで開かれました。フリーマーケットをはじめ、ミニミニ抽選会、的当てゲームといった楽しいコーナーが盛りだくさんで、沖縄そば、手作りお菓子などの販売、琉球藍染めやクリスマスカードの手作り体験コーナーも人気を集めていました。また、太陽児童センターエイサークラブによるエイサー、糸満高校男子生徒のダンス、手品ショーも披露されました。

このバザーは、市商工会をはじめ市内の企業の協力も得ており、収益金は後日、新潟県小千谷市と山古志村の災害対策本部へ贈られます。



大にぎわいのフリーマーケット
レインボースコップ作り
真剣です！

今月の人人人 vol.36

無限の可能性を秘めた 若きデザイナー ほかま あゆか 外間 鮎佳さん（伊敷）



「沖縄ファッションデザインコンテスト」の受賞作（左）と「ふくおか2004ファッションデザインコンテスト」の受賞作に囲まれて、笑顔の外間さん

今回は、まだ16歳の高校生ながら、県内外のデザインコンテストで優秀な成績をおさめている外間鮎佳さんをご紹介します。

外間さんは現在、沖縄女子短期大学附属高校の普通科服飾デザインコースの2年生です。もともと絵を描くことが好きで、デザインに興味を持って進学したそうですが、授業で実際に服を作るにあたり「最初は玉止めもできませんでした」と苦笑。地道な練習の成果で、今では被服検定2級を取得するまでに上達しました。

これまでに「ふくおか2004ファッションデザインコンテスト」高校生の部で、3位にあたる福岡市長賞を受賞、また「2004沖縄ファッションデザインコンテスト」、「かりゆしウェアデザインコンテスト」でも入賞しています。めざましい活躍をみせる一方、「生地選びや制作を手伝ってくれた両親や先生方、友人たちの協力のおかげです」と周囲への感謝も忘れません。

服飾デザインの魅力について「出来上がった作品をほめられたり、着てみたいと言われることが嬉しい」と話す外間さん。また、服飾にとどまらず、絵画や立体造型、染色などいろいろな分野に興味があるとか。今後も新たな可能性に挑戦し続ける若い才能に、大いに期待できそうです。

糸満から
世界へ

響け平和の歌

いとまん
平和音楽祭



さださんの美しい歌声が響きわたる

音楽祭の後半にはさだまさしさんが登場し、おなじみの名曲と軽妙なトークで聴衆を魅了しました。さださんは最後に「あなたの大切な人の笑顔を守るために、何ができるか考えてみよう。それが平和への第一歩だと思う」とメッセージを投げかけました。

また、音楽祭の中で、糸満高校生徒会と潮平太鼓キジムナーの皆さんが新潟県中越地震の被災者の方のためにそれぞれ集めた義援金を、新潟に縁のあるというさださんに託しました。

音楽を通して糸満から平和を発信しようと「コープおきなわプレゼンツ いとまん平和音楽祭 さだまさしコンサート」（主催：同実行委員会）が、11月28日、西崎陸上競技場で開催されました。

糸満高校・沖縄水産高校・糸満中学校吹奏楽部の合同演奏に続いて、4組のアーティストが出演し、詰めかけた約4000人の聴衆は個性あふれる競演を堪能しました。ステージの合間にはガールスカウトの皆さんが平和の詩を朗読、西平市長が平和宣言を行い、「平和のまち糸満」をアピールしました。



恋人、家族、地球への3種類の愛を歌う「そら」



オシャレでパワフルな「B.B-Wicth」のステージ



地元糸満の「シーサーバンド」と「竜神太鼓」の競演



「しあわせについて」を3校の吹奏楽部の皆さんと合唱するさださん



美しいハーモニーが魅力
アカペラグループ「チキンガーリックステーキ」



ごみ減量！ あなたの出番です

南部のごみ問題を考える
公開シンポジウム



「南部地区のごみ問題を考えるシンポジウム」が、12月4日に市農村環境改善センターで行われました。450名余りの参加者の中、基調講演では高杉晋吾さん(NPO法人「循環型社会研究会」前代表)が、大型灰溶融施設を設置するにあたり、立地の選定の有り方や住民参画の大切さを訴えました。

また、その後のパネルディスカッションでは、ゴミ減量について市民団体の古我知浩さんは「子どもたちがゴミについて考えることのできる買い物ゲーム」、山城薫さんは「ゴミは1つの種類だけだときれいなもの、混ぜるからゴミになる」、諸見里米子さんからは「誰にでもできるゴミ減量」についての話があり、会場はその内容を熱心に聞き入っていました。

スリー

3 ハートふれあい交流会 開催

市内の施設・作業所等で活動している障害者の方々と親睦を深めようと「3ハートふれあい交流会」（共催：市地域生活支援センター「ひかり」・知的障害者更正施設「みなみの里」・市障害者生活支援センター「陽だまり」）が、11月27日に市勤労者体育センターで開かれました。利用者の皆さんが自ら企画・運営を行い、当日は約90名が参加してミニバレーやクイズ、ゲームを楽しんでいました。



スポーツを通して楽しく交流

「第10回糸満市障害者スポーツ大会」が、12月4日、西崎総合体育館で開かれました。開会式では外間保貴さんと徳嶺勝美さんが「いろいろな人たちと楽しく競技をすることを誓います」と選手宣誓を行いました。その後参加者はチームに分かれ、フロアバレーボール、風船バレーボール、フライングディスク、ペタンクの4種目を楽しみながら、チームメイトや対戦相手と交流を深めました。



ダンススポーツグランプリin沖縄

「第17回サントピア沖縄・ふれあいフェスタ 2004ダンススポーツグランプリin沖縄」が、12月



情熱的なラテンダンス

11日に西崎総合体育館で開催され、スタンダードとラテンの2種目7クラスに、県内外から述べ300組が出場しました。日本一のペアも登場するなどレベルの高い演舞が繰り広げられ、出場者が笑顔で踊る姿に大勢の観客が声援と拍手を送っていました。

「緑と海 明日へつなげる 自然の姿」



「大きく育ててね」
緑の少年団の皆さん

県民一人ひとりが、緑を守り育てることの大切さを心に刻み、潤いと安らぎのある緑豊かな美ら島作りをめざそうと、「平成16年緑の育樹祭」（主催：県緑化推進委員会）が、11月20日に市役所周辺緑地で行われました。式典に続き、関係者や市民が総出で市役所周辺の育樹作業を行いました。市民のみなさん、ご協力ありがとうございます。



大会に出場したメンバーはそれぞれ成績や感想を報告し、宮良さんは覚えた童話を元気よく披露して、喝さいを浴びていました。

文武両道の兼城小 これからも がんばります！

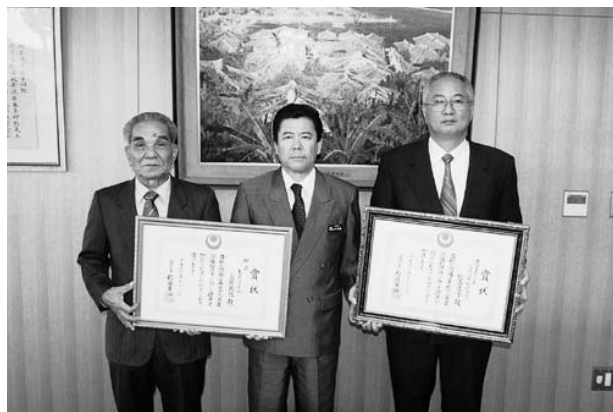
兼城小学校の皆さんが11月30日に市役所を訪れ、これまでのスポーツ・文化面での活躍を西平市長に報告しました。主な成績は以下のとおりです

- ◆ 5/28 「第2回糸満地区小体連駅伝大会」
男子が優勝、女子が7位
- ◆ 10/14 「第41回糸満地区小体連陸上競技大会」
総合優勝
- ◆ 11/17 「第14回島尻地区童話・お話・意見発表大会」
小学校低学年の部 最優秀賞（県大会へ出場）
宮良つくみさん（2年）

糸満の名酒に 県知事表彰

「平成16年度泡盛鑑評会」の表彰式が11月1日に那覇市で行われ、市内の上原酒造と比嘉酒造が、特に優秀な製品を出した酒造所に贈られる「県知事表彰」を受けました。

この鑑評会は、沖縄の伝統的銘酒「泡盛」の品質向上と製造技術の進歩を図り、併せて泡盛製造業を県の重要な地場産業として育成するために開催されています。今年は133点の出品があり、5点の作品が県知事表彰を受けています。酒造会社のみなさん、おめでとうございます。



これからますます泡盛をつくり続けてください

車いす

地域福祉のために役立ててください

福祉巡回車



今回の車いすは社会福祉協議会で活躍します

12月14日、（株）大同火災から市役所へ2台の車いすの寄贈がありました。平成2年から「障害者の日（12月9日）」と会社の創立記念日に合わせ、毎年県内各地に車いすを寄贈しているとのこと。糸満市では今回が6回目で、これまでに17台が贈られ、市内で活躍しています。大同火災の皆さん、ありがとうございます。

社団法人沖縄県生命保険協会（滝村洋樹会長）は、12月16日に市社会福祉協議会（杉本栄孝会長）に福祉巡回車1台を寄贈しました。これは同協会が取り組んでいる「地方CR活動（コミュニティ・リレーションズ＝地域との良好な関係づくり）」の一環として会員からの募金で行っているもので、今年で13回目となり、これまでに32台を県内市町村の社会福祉協議会などに寄贈しています。



贈られた福祉巡回車の前で鍵を手渡す滝村会長（左）

第三回危険業務従事者叙勲

警察官や自衛官など危険性の高い業務に従事し、社会に貢献された人を対象とする「第三回危険業務従事者叙勲」が、二〇〇四年十月八日に発表され、本市からは次のお二人が受章されました。この叙勲は、栄典制度の改革に伴い昨年創設されたもので、糸満市からは初の受章となります。

瑞宝双光章



防衛功労
桐生 利光さん

(61歳)

阿波根

桐生さんは新潟県のご出身で、昭和三十八年に地元で自衛隊に入隊。中越地方が豪雪に見舞われた際の自衛隊の献身的な復旧活動を見たことが、自衛官を志すきっかけになったそうです。神奈川、埼玉、千葉での勤務を経て昭和五十一年に東風平町の中隊本部に異動。指揮運用班、補給班の班長を歴任し、平成九年に退官されました。三十四年余りの自衛隊生活の中で印象に残っていることとして「高射部隊の隊員として米国でのホーク年次射撃に参加できたこと」「新隊員の教育を担当し、その隊員が

立派に出世していること」などを挙げていただきました。

平成三年に糸満市に住居を移し、定年後にはホームヘルパー三級の資格も取得。現在は全国共済農業協同組合連合会の県本部で、自動車の損害調査を担当されています。受章にあたり桐生さんは「現役の時に良い上司と同僚に恵まれ育まれ支えられて、今回の栄誉を与えられました。今後はそれを誇りとして、県民に市民に地域に、ボランティア活動等何らかのかたちで貢献できればと思っています」と話されていました。

瑞宝双光章



警察功労
玉城 幸徳さん

(77歳)

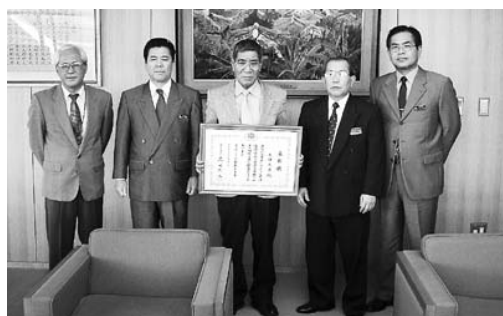
米須

玉城さんは、昭和二十一年に沖縄民警察巡査に任命されて以来、四十二年間、糸満地区や那覇地区警察署などで主として交通関係の業務に従事されてきました。昭和六十三年、沖縄県警部に昇任されたのを最後に定年退職。その後は、糸満市選挙管理委員や米須の老人クラブ会長を務められるなど、地域活動にも積極的に貢献されています。

現役時代に一番大変だったのは、戦後復帰の際のデモ隊との衝突や730(ナナサンマル)の作業だったそう。「デモ隊は数が多すぎて、

※730：復帰後の一九七八年七月三十日、本土に合わせて県内の交通方法を「人は右、車は左」に変更した、世界的にも大きな交通革命の通称。

大田 大滋さん 表彰おめでとうございます 上原 美智子さん



多年にわたる地域医療及び生活保護行政への功績が評価され、大田大滋さん(米須)が、十一月十二日に「平成十六年度社会福祉事業功労者厚生労働大臣表彰」を受けられました。大田さんは医師として働くかわら、平成元年より市福祉事務所の嘱託医として生活保護行政の適正な運営に貢献されています。大田さんは「これまで職員の皆さんに支えられてきたので、皆さんの代わりに表彰されたと思っています」と謝意を表わしながらも「若い人からお年寄りまでもっと雇用の場が増えれば心も豊かになり、生活保護も減ると思う」との考えも話していました。



十一月二十九日、上原美智子さん(大度出身)が、地域の社会教育に貢献している人に贈られる「平成十六年度社会教育功労者文部科学大臣表彰」を受けられました。上原さんは平成十年から市社会教育指導員として活動しており、「私の母は戦争で家族を失い、うつ病になっていましたが、老人クラブやサークルなどに参加したおかげで元気になりました。母のおかげで私も社会教育に携わり、死ぬまでやり続けるという信念があったのでここまで来られました。これを契機にますます励んでいきたいと思っています」との感想を話していました。

平成15年度

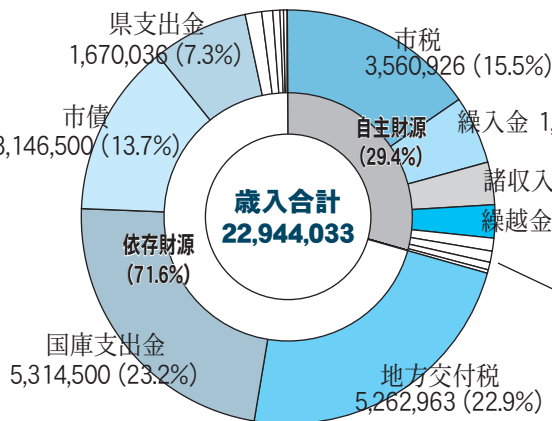
糸満市の決算状況

平成15年度(平成15年4月～平成16年3月31日)の決算がまとまりました。皆さんの納めた税金や国や県からのお金がどれくらい入り、どれだけ使われたのかを公表します。

平成15年度 一般会計決算図表

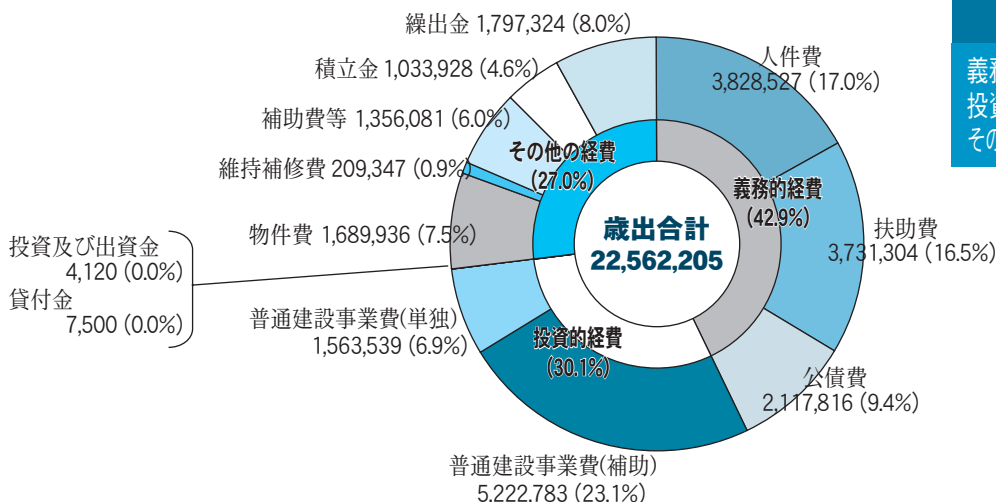
(単位：千円)

地方消費税交付金	362,672	(1.6%)
地方譲与税	163,020	(0.7%)
地方特例交付金	109,228	(0.5%)
ゴルフ場利用税交付金	70,749	(0.3%)
利子割交付金	18,594	(0.1%)
自動車取得税交付金	47,376	(0.2%)
交通安全対策特別交付金	8,024	(0.0%)
国有提供施設等所在市町村助成交付金	5,793	(0.0%)



歳入決算額

自主財源	6,764,578	(29.4%)
依存財源	16,179,455	(71.6%)



歳出決算額

義務的経費	9,677,647	(42.9%)
投資的経費	6,797,942	(30.1%)
その他の経費	6,086,616	(27.0%)

平成15年度 会計別決算状況

(単位：千円)

区分	歳入	歳出	差額
一般会計	22,944,034	22,562,205	381,829
特別会計			
国民健康保険事業	5,303,274	5,592,554	△ 289,280
公共下水道事業	1,535,266	1,511,904	23,362
老人保健事業	4,196,019	4,196,019	0
介護保険事業	2,949,978	2,944,564	5,414
人材育成事業	51,035	26,283	24,752
計	14,035,572	14,271,324	△ 235,752
水道事業			
収益的収支	1,493,924	1,405,055	88,869
資本的収支	130,221	377,641	△ 247,420
計	1,624,145	1,782,696	△ 158,551
合計	38,603,751	38,616,225	△ 12,474

市民1人あたり使われている金額

民生費	102,582 円
土木費	83,333 円
総務費	50,119 円
教育費	40,761 円
農林水産業費	39,409 円
公債費	37,169 円
衛生費	27,698 円
消防費	7,485 円
議会費	4,725 円
商工費	2,203 円
労働費	497 円
災害復旧費	0 円
合計	395,981 円

左の表は、平成15年度一般会計決算状況を元にして、市民が一人あたり、どれくらい事業にお金を使っているのかを計算しました。

糸満市では1人あたり、**62,497円**の市税で**395,981円**の事業を行っています。

※平成16年3月現在の人口(56,978人)で計算した場合

お知らせ広場

広報いとまん版

相談

精神障害者の家族の方々へ 家庭相談員にご相談を

精神障害者が安心して地域生活をおくり、当事者の生活を守るため、沖縄県精神障害者福祉連合会において登録された家族相談員にご相談ください。

- ◆対象 精神障害者の家族
- ◆日時 毎月第1月曜日 午前10時～12時
- ◆相談 電話・来所相談
- ▼問い合わせ
糸満市地域生活センターひかり
☎ 994-5100

お知らせ

ちゅら島環境美化全県一斉清掃 1月23日は 市民の清掃の日

- ◆日時 1月23日(日) 午前9時30分
- ◆集合場所 西崎親水公園西側護岸
(し尿処理場西側護岸)
- ◆清掃場所
西崎親水公園西側より、「琉球の館」
北側までの護岸沿いのごみ収集

予防接種

ツベルクリン・BCG予防接種

市では、平成16年の結核予防法の改正(対象年齢が、生後3ヶ月～4歳未満から生後6ヶ月未満となります。平成17年4月1日施行)に伴い、下記の日程でBCG予防接種を実施致します。

次年度以降は、生後6ヶ月を過ぎると定期予防接種としての実施はできなくなりますので、未接種児はこの機会に是非接種してください。

- ◆対象者
生後3ヶ月～4歳未満の乳幼児
- ◆接種料金 無料
- ◆実施日
ツベルクリン検査
2月15日(火)、3月7日(月)
BCG予防接種
2月17日(木)、3月9日(水)
- ◆受付時間
午前9時30分～11時30分
- ◆実施場所 農村環境改善センター
- ◆必要な物
母子手帳、市発行のツベルクリン反応検査予診票ハガキ(予診票ハガキは実施日の2週間前を目安に対象者の方に郵送致します。)
- ▼問い合わせ
保健予防課 ☎ 840-8126

糸満市の元気な子



大好きなお兄ちゃんと
アイアイ傘♪

くによし はるひ りょうた
國吉 春妃(8ヶ月) 涼太(5才) 西崎



来年の十五夜に向かって
ガンバルぞ！

いとう よしき
伊藤 圭輝(4才) 西崎

「元気な子」写真募集

年齢は10歳位まで。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号、「ひとこと」を書いて送ってください。

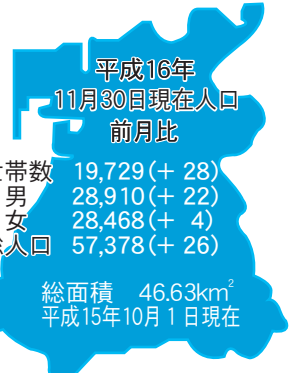
- ◆送付先
〒901-0392 糸満市潮崎町1丁目1番地
秘書広報・男女参画課
「元気な子」写真募集係まで

2005 劇団はぐるま座 沖縄県公演 高杉晋作と奇兵隊



幕末。世直しを願う百姓一揆は全国で起こっていた。近代日本の夜明けに起こった幕末の日本を揺り動かした名も無き若者たちの物語。

- 日時 2月6日(日) 午後2時
- 場所 西崎小学校体育館
- 入場料 前売券 一般 3,000円
小中学生 1,500円
当日券 一般 3,500円
小中学生 2,000円
- チケット取扱い先
糸満市役所売店、座波レコード、
糸満市観光協会
- 問い合わせ
糸満市観光協会 ☎ 840-3100
劇団はぐるま座沖縄公演事務所
☎ 939-6733



糸満市の火災・救急 平成16年10月末日現在

災害種別	件数	前年比
11月の火災	1件(14件)	+5
11月の救急	161件(1768件)	+107

() 内は平成16年累計

お知らせ

沖縄の最低賃金をご存知ですか？

沖縄県内の使用者は、この最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできません。

(1) 沖縄県最低賃金 606円

(2) 産業別最低賃金

○畜産食料品製造者	648円
○糖類製造業	656円
○清涼飲料・酒類製造業	649円
○新聞業	688円
○各種商品小売業	638円
○自動車(新車)小売業	638円

※全て1時間の金額です。

ただし、次の者は(2)の産業別最低賃金から除外され、(1)の沖縄県最低賃金が適用されます。

- ①18歳未満または65歳以上の者
- ②雇入れ後6月未満の者であって、技能習得中の者
- ③清掃または片付けの業務を主として従事する者

▼問い合わせ

沖縄労働局 賃金室 ☎868-3421

試験

危険物取扱者試験

◆試験日時

3月13日(日) 午前10時開始

◆試験の種類

甲種、乙種(第1類～6類) 丙種

◆試験会場

- 南部農林高等学校
- 沖縄国際大学
- 北部農林高等学校
- 宮古工業高等学校
- 八重山農林高等学校

◆受験願書受付期間

2月1日(火)～2月7日(月)

◆受験案内書配布先

各消防本部、宮古支庁総務観光振興課、消防試験研究センター

◆受験受付方法

受験願書を消防試験研究センターへ郵送又は直接窓口へ持参

▼問い合わせ

(財)消防試験研究センター沖縄支部
☎867-5332
〒900-0029 那覇市旭町116-30 自治会館5階
<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

申請受付

建設工事等入札参加申請受付を開始します

平成17・18年度に糸満市、市教育委員会、市水道局、市土地開発公社が発注する建設工事及び測量コンサルタント業務等の入札に参加希望する者は、次のとおり提出してください。

◆要領の配布 1月5日(水)～2月28日(月)

◆受付期間 2月1日(火)～2月28日(月)

◆受付場所 契約管財課

▼問い合わせ

契約管財課検査担当 ☎840-8121

☆要領は、インターネットでも公開中
<http://www.city.itoman.okinawa.jp/>

自動車税納めてますか？

県では、現在「自動車税滞納整理強化月間」を実施しており、自動車税の滞納の一掃に努めています。催告をしても納めない方には、財産の差し押さえを行っています。

まだ納めていない方は、今すぐ、お近くの銀行、農協等で納めてください。

老人医療だより23 老人医療制度

老人医療保険制度は高齢者の方の医療費の負担額を1割または2割に低減する制度です。下記に該当する方で、まだ老人医療受給者証を取得されてない方はお早めに申請してください。

◎老人保健で医療を受けることのできる人

満75才になった方(誕生日が昭和7年9月30日以前)の人は、70歳からで、医療保険(国民健康保険や職場の健康保険など)をお持ちの方は、老人保健法による医療をうけられます。また、満65歳以上のねたきり状態にあると糸満市長が認定したときに老人保健法で医療がうけられます。尚、生活保護を受けている方は該当しません。

ねたきり状態とは

- ・障害年金受給者
- ・精神障害者福祉手帳1・2級を持っている方
- ・身体障害者手帳の1級から3級、4級でも音声機能または言語機能の障害、下肢障害1号、3号または4号に該当する人

▼問い合わせ 介護長寿課老人医療担当

☎840-8133

納税でみんなの豊かなまちづくり

■滞納処分の状況

区 分	10月末までの 差押件数	11月分の 差押件数	11月分の 解除件数	繰越中の 差押件数
差 不 動 産	227	9	4	232
参 加 差 押	94	1	0	95
預 金	2	6	5	3
給 与 等	1	0	0	1
電 話 加 入 権	59	3	0	62
合 計	383	19	9	393

1月の納期は以下のとおりです。

- ① 市県民税 第4期
- ② 国民健康保険税 第7期

“納税で生き・活き
まちづくり”



相談・問い合わせ 収納対策室収納係 ☎840-8129

お知らせ

生ごみの減量に ご協力ください

野菜くずや食べ残し・賞味期限切れの食品などの生ごみは、燃やせるごみの30～40%を占めています。

糸満市では、生ごみの減量化を推進するために生ごみ処理容器購入費の助成やEM活性液の無料配布、生ごみ処理講習会を実施しています。

▼問い合わせ

生活環境課 ☎840-8124



●生ごみ処理容器

募集

いつでも だれでも どこでも学べる
無試験で入学できる 自宅が大学！

放送大学 学生募集

- ★放送大学は、テレビ・ラジオを活用するシステムの大学です。
- ★入学試験はありません。学びたい！それだけが入学資格です。
- ★自宅でマイペースで授業が受けられます。
- ★時代に即した幅広い約300科目(大学院は約60科目)が準備されています。
- ★好きな科目を1科目でも受講できます。
- ★授業料は科目数の数だけ納める仕組み
- ★資格取得の道が開けます。
 - 国家試験の一部免除
司法試験、公認会計士、不動産鑑定士
 - 国家試験の受験資格取得
社会保険労務士、税理士

◆対象者

学部学生 15才以上
大学院(専修科目・選科生) 18才以上

◆出願期間 2月28日まで

▼問い合わせ・資料請求先

放送大学沖縄学習センター

☎895-5952

〒903-0129 西原町千原1番地

琉球大学地域国際学習センター4階

<http://www.u-air.ac.jp/hp>

糸満警察署より

緊急時 あわてず
あせらず 110番
1月10日は「110番の日」

110番は、県民と警察を結ぶ強い絆として定着し、事件・事故等の早期解決に大きく役立っています。

●110番での対応

110番では次のことを確認いたします。

- ①何があった
- ②いつ
- ③どこで(住所、目標となる建物等)
- ④犯人は(人相、特徴、逃走方向等)
- ⑤今はどうなっている
- ⑥あなたの名前・住所・電話番号

●110番での困り事

110番は緊急通報用電話です。しかし、運転免許証や交通渋滞などについての照会や、近隣のパトロールを強化してほしいなどの要望・苦情、虚偽の通報など警察による緊急の対応を必要としないものが、110番通報全体の35%もあります。緊急ではない用件が110番に殺到すると、本当に緊急に対応しなければならぬ事故や事件の対応に支障をきたすおそれがあります。

●各種相談・照会等は！

☎#9110 (または、☎863-9110)

介護保険49 訪問介護利用者負担助成措置期間終了について

介護保険導入に伴う利用者負担額激変緩和の観点から介護保険の施行前に訪問介護を利用していた方々に対しましては、その利用者負担について軽減措置を講じ、利用の促進を図って参りましたが、低所得対象者(一般)にあっては平成17年3月31日で期間終了することとなりました(障害対象者については現時点で存続は未決定)。

ただし、県への申出法人を利用する場合には「社会福祉法人等による利用者負担額減免」制度もありますので利用する法人事業所に相談するか、介護長寿課に來所し、次の要件を満たす場合は申請を行ってください。

I 対象者

- ①市県民税非課税世帯に属する方
- ②高額介護サービス費の上限額が低い所得区分に属する方
- ③年間収入額が60万円以下である方
- ④世帯員以外の親族等の扶養を受けていないこと
※生活保護を受けている方は対象外となります。

II 対象サービス

- ①介護老人福祉施設
- ②通所介護
- ③訪問介護
- ④短期入所介護

III 減免の程度

- ①利用者負担の2分の1

▼問い合わせ 介護長寿課 ☎840-8133

子育て支援センターより

ぬくぬくの1～2月の育児講座

今月のテーマは「子どもの健康」

簡単なお弁当の作り方

子どもの食についてのお話や喜び
弁当づくりのポイントを実習します。

◆日時 1月19日(水) 午前10時

◆講師 大城牧子(栄養士)

ベビーマッサージ

オイルマッサージで親子のふれあいを
楽しみましょう。

◆日時 1月26日(水) 午前10時

◆対象 0歳児

親子で楽しくリトミック

音楽に合わせてリズム遊びを楽しみ
ませんか？

◆日時 2月2日(水) 午前10時

子どもの発達チェック

◆日時 2月9日(水) 午前10時

◆対象 0・1・2歳児の健康発達相談

◆内容 健康についての質問等

▼問い合わせ

糸満市子育て支援センターぬくぬく

☎ 852-3633

教育委員会より

平成17年度 糸満市人材育成奨学生募集

1. 目的

進学の意欲と能力を有する学生、生徒に対し、就学に必要な学資を貸与し、
有能な人材を育成する。

2. 貸与を受ける資格条件

- (1) 糸満市に5年以上引き続き住所を有するもの、もしくは本市に5年以上
住所を有していたもので、就学のため市外に住所を変更したもの、または
本籍を有するもの。
- (2) 短期大学、大学または大学院に在学しているもの。
- (3) 学業成績及び素行が優秀で、かつ心身共に健康であるもので学校長の
推薦があるもの。
- (4) 他から奨学資金の貸与・給付を受けてないもの。

3. 貸与・給付の金額及び募集人員

◎貸与額（市人材育成基金）

県外及び国外大学生（短大、大学院含む）・・・月額4万円（若干名）

県内大学生（短大、大学院含む）・・・月額2万円（若干名）

4. 申請方法

願書を受け取り、必要な書類を準備して、教育委員会総務課で受付

5. 願書配布期間 1月11日(火)～3月18日(金)

6. 受付期間 3月1日(火)～3月31日(木)

▼受付・願書配布場所

教育委員会総務課 人材育成係 神谷(糸満市役所庁舎・5階南側)

糸満市潮崎町1丁目1番地 ☎ 840-8160

中央図書館

開館時間：火～金 午前10時～午後7時
土・日 午前10時～午後5時

みなよお
☎ 995-3746

●休館日 毎週月曜日、祝祭日、第2金曜日の資料整理日

特別整理日(蔵書点検)に伴う図書館休館のお知らせ

1月17日(月)～31日(月)まで、蔵書点検を行います。ご理解と
ご協力のほど、よろしくお願いします。

※1月の資料整理日である14日(金)は開館します。

●今月の行事

*おはなし会：1月8日(土) 午後3時 おはなしのへや

*上映会：1月16日(日) 午後2時 2階集会室
「14ひきのこもりうた」

移動図書館

くろしお号

巡回日 [12/11～1/9]

A	2/2	水曜
高嶺小学校	13：30	
がじゅまる児童センター	16：10	
与座区民館	17：00	

B	1/15	土曜
兼城ハイツ集会所	14：00	
潮平北側広場	14：40	
阿波根宿舎	15：30	

C	2/6	日曜
新垣公民館	10：30	
真栄平コミュニティ供用施設	11：10	
賀数公民館	14：00	
武富構造改善センター	14：40	
おおたばる(賀数宿舎)	15：30	

D	1/12、2/9	水曜
喜屋武小学校	13：20	
摩文仁児童体育施設	15：40	
さつきの城自治会館	16：20	
米須団地	17：10	

E	2/5	土曜
航空局糸満宿舎	14：00	
願寿館	15：00	
西崎1丁目集会所	15：40	

F	1/16	日曜
西崎さくら公園	10：40	
パークタウン自治会館	14：00	
雇用促進住宅	14：40	
潮平高層住宅	15：20	

G	2/3	木曜
真壁小学校	13：30	

各地域とも滞在時間は
30分～50分です。

図書館から借りたものは、期限内に返しましょう！

各種相談先

◎行政相談 ～役所の仕事に関する苦情や意見・要望等をお受けします～

- ◆日時 毎月第2火曜日 14:00～16:00
- ◆場所 市役所2階相談室
- ▼金城栄子 ☎994-5978 ▼酒屋祐定 ☎997-3117

◎市民相談 ～市民生活に関する相談に応じます～

- ◆日時 月・火・水・金(祝日はお休み) 8:30～17:00
- ◆場所 市民生活課 ☎840-8123

◎無料法律相談 ～弁護士による法律相談～

- ◆日時 毎月第2、4水曜日 13:30～15:30
- ◆受付 相談日の前日の午前9時から先着5名
- ◆場所 市民生活課(相談室)

◎健康相談 ～健康についての悩み事はこちらまで～

- ◆日時 毎週水曜日 9:30～12:00
- ◆場所 市役所ロビー (保健予防課 ☎840-8126)

◎人権相談 ～親子・夫婦・扶養・相続・いじめ等～

- 人権擁護委員
- ▼上原秀昭 ☎992-6057 ▼大城静江 ☎994-7958
- ▼上原幸佳 ☎994-2506 ▼金城則子 ☎994-3333
- ▼比嘉かね ☎994-2390 ▼大城美根子 ☎994-7076

◎ふれあい福祉相談

- ◆日時 毎週月曜日～金曜日 13:00～17:00
- ◆場所 社会福祉センター (ふれあい福祉相談室)
- ▼TEL 994-0563 (内15) 専用TEL 852-3000

◎障害者相談 ～県から委託を受けた方々です～

- ▼身体障害 桜木かほる ☎992-2723
- 豊平 朝清 ☎992-4741
- ▼知的障害 山城 和枝 ☎994-4346

◎子育て相談

- ◆日時 毎週火曜日～土曜日 10:00～17:00
- ◆場所 青少年センター (がじゅまる児童センター)
- ☎995-1952 (gajimaru@southernx.ne.jp)

◎女性相談所 ～女性のいろいろな悩みを解決します～

- ◆受付時間 平日 8:30～17:00
- 土・日・祝祭日 10:00～17:00
- ▼沖縄女性相談所 ☎854-1172

**あなたのプライバシーや秘密は必ず守ります。
一人で悩まずささいなことでもご相談を！**

「市・県民税の申告が始まります」

平成17年1月1日現在、糸満市に住んでいる方は、収入がない方も申告をするようにしてください。

申告しない方々については、国民健康保険税の減免措置や国民年金保険料の免除が受けられなくなります。また所得証明、扶養証明、納税証明などの諸証明書の発行ができなくなるほか、いろいろな行政サービスが受けられない場合があります。

- ◆申告期間 2月16日(水)～3月15日(火)
- ◆場所 市役所2階 市民ギャラリー

※詳しくは、市広報2月号でお知らせします。

▼問い合わせ 税務課 ☎840-8128

那覇税務署より

申告と納税は期限内に！

1. 申告と納税は期限内に！
- 所得税 2月16日(水)～3月15日(火)
- 消費税 1月4日(火)～3月31日(木)
- 贈与税 2月1日(火)～3月15日(火)
- ※2月20日、27日の日曜日に限り申告・相談・申告書の受付を行います。

2. 申告書は自分で書いて早めに送付か窓口で提出を！
- 申告書の作成又はインターネットによる申告手続きは、国税庁のホームページをご利用ください。

3. 消費税のご準備は始めましたか？
- 平成15年分の課税売上高が1,000万円を超える個人事業者の皆さんは、平成17年から消費税の課税事業者となります。課税事業者届書の提出がまだの方はお早めに提出を！

▼問い合わせ

那覇税務署 ☎867-3101

国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>

寄付

ご芳志ありがとうございます

(11月12日～12月11日)

社会福祉協議会へ

▽玉城ハル子さん＝真壁100より、
故 玉城重則様の香典返しとして10万円

糸満市人材育成事業へ

▽玉城ハル子さん＝真壁100より、
故 玉城重則様の香典返しとして10万円

第1回共同募金チャリティーグラウンドゴルフ大会 お礼

おかげをもちまして、204,538円の収益金をあげ、無事成功裡に終了することができました。早速、この収益金は沖縄県共同募金会糸満市支会へ「イベント募金」として納付いたしました。

市民のみなさん、本当にありがとうございました。

沖縄県共同募金会糸満市支会 支会長 杉本栄孝

日 旧暦	1月(睦月) 市政カレンダー	25日(火) 十六日	
1月10日(月) 十二月一日	●成人の日 ■図書館休館日 (公休日)	26日(水) 十七日	
11日(火) 二日	■障害児スポーツ教室(中央公民館)16時 ■図書館休館日 (振替)	27日(木) 十八日	
12日(水) 三日		28日(金) 十九日	
13日(木) 四日		29日(土) 二十日	
14日(金) 五日		30日(日) 二十一日	
15日(土) 六日	■知的障害者絵画教室(中央公民館)10時	31日(月) 二十二日	
16日(日) 七日	■第20回市長杯バドミントン大会(西崎総合体育館)9時	2月1日(火) 二十三日	
17日(月) 八日	■図書館特別資料整理日 (～31日)	2日(水) 二十四日	
18日(火) 九日		3日(木) 二十五日	
19日(水) 十日		4日(金) 二十六日	
20日(木) 十一日	■自治連絡員会議(市役所3-c会議室)14時	5日(土) 二十七日	■社会福祉関係者交流会(市社会福祉センター)14時 ■沖縄一周市郡対抗駅伝競争大会(～6日まで)
21日(金) 十二日		6日(日) 二十八日	■2005劇団はぐるま座公演(西崎小体育館)14時
22日(土) 十三日		7日(月) 二十九日	■自治連絡員会議(市役所3-c会議室)14時 ■図書館休館日
23日(日) 十四日	■市民の清掃の日(西崎親水公園西側護岸)9時30分 ■第1回新春自治体パークゴルフ大会(観光農園)	8日(火) 三十日	
24日(月) 十五日	■障害児スポーツ教室(中央公民館)16時	9日(水) 一月一日	★旧正月

- ◎中央公民館 毎週土曜日 少年少女合唱団(11時～12時) 子ども放送局(10時半～12時)
◎子育て支援センターぬくぬく 毎週水曜日 子育て講座(10時～11時) ※祝祭日は休み
◎糸満市社会福祉協議会 第2、4土曜日 FMたまん社協コーナー(10時)

編 集 後 記

▽新年明けましておめでとうございませう。昨年は「あつー」という間に一年が過ぎた感じがします(毎年同じように思っています)。今年もたくさんの方の取材や編集に頑張りますので、よろしくお願い致します。(なぜかインフルエanzaに感染しない@しげあ)

▽先日、「いとまん平和音楽祭」でのごさだまさしさんが、コンサート前に平和の礎を訪れたことに触れ、「敵も味方もひとつの心で名前を刻まれていることに感動した。そこに平和の本物の意味がある」と思ふこと話していたのが印象的でした。音楽祭で平和への思いを発信し、平和の光に願いを込めて終わって一年でした。二〇〇五年が市民の皆様にとって良い年でありますように。そして今年も広報いとまんを、どうぞよろしくお願い致します。(あやこ)

ラジオ広報

糸満市役所だより

F M た ま ん (76.3MHz)	月～金	① 7:40～7:50 (10分)
		② 12:50～13:00 (10分)
		③ 17:50～18:00 (10分)
	土・日	① 12:50～13:00 (10分)

◆FMたまんラジオ回覧版◆ ー糸満とれたて情報満載ー

- ▼日時 毎週月～金曜日 正午
◇糸満・南部の話題で60分!
◇市町村職員や市民が電話出演

発行日 平成17年1月5日 473号 / 発行 糸満市役所 / 編集 総務企画部秘書広報・男女参画課
〒901-0392 糸満市潮崎町1丁目1番地 / 代表TEL (098) 840-8111 / FAX (098) 840-8112

<http://www.city.itoman.okinawa.jp/>

2004

糸満市重大ニュース



10月 糸満ワイン 県知事表彰 最優秀賞受賞



11月 南部病院存続に向けて
住民協議会を設立



7月 糸満市長に
西平賀雄氏が当選



大城さつきさん
(ゴルフ)



上原和子さん
(バドミントン)



6月 糸満市初の
女性消防団員
が誕生

糸満高校
バスケット部



糸満市の子どもたちがスポーツで大活躍



10月
ふれあい漁港漁村地区に
新糸満造船(株)が進出第
一号決定



10月
糸満小学校
体育館完成

- ◎4月 糸満観光農園でパークゴルフと
フルーツパーラー開業
- ◎4月 高規格救急自動車運用開始
- ◎コミュニティセンター(賀数、照屋、南波平)
が落成